

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について (案)」に対するご意見と市の考え方（実施結果）

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」について、皆様からお寄せいただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方について公表します。

なお、ご意見の内容が変わらない範囲で要約などを行っています。

ご意見をお寄せいただきました皆様のご協力に厚く感謝申し上げます。

令和4年3月

岩倉市教育こども未来部子育て支援課

1 意見募集の概要

(1) 意見の募集期間

令和4年1月21日（金）～令和4年2月21日（月）（32日間）

(2) 意見を提出できる人

- ・市内に在住、在勤または在学の人
- ・市内で事業や活動を行う個人または団体

(3) 閲覧場所

情報サロン・観光情報ステーション、子育て支援課、市ホームページ

(4) 意見の提出方法

持参、郵送、ファクシミリ、電子メール、ホームページ投稿フォーム

2 募集結果

意見者数 18件（個人：17人、団体：1団体）

3 ご意見に対する市の考え方

別紙のとおり

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」のパブリックコメント

No	意見の要旨	市の考え方
1	すでに決定された事項のように言う人もいる。再度説明会が必要である。	今回お示ししたものはあくまで建設候補地域の案の段階のものです。このパブリックコメントを受けてこの案を確定した後に、令和4年度に詳細な場所を決定していきます。今後も、統合保育園の整備に当たり機会を見て説明会を実施していきます。
2	A地域では井上、石仏から1キロメートル以上離れてしまい、歩行、自転車での通園は困難であるので反対である。	A地域については、立地に関しては、北部保育園と仙奈保育園のちょうど中間地点であり高評価でしたが、環境面での将来の土地利用の面で工業地としての利用の可能性がある保育園のある環境が保たれない可能性が高いことと、農振法や農地法、都市計画法において建設の許可がされない可能性が高いことから、最適地であるとは言えない状況です。
3	B地域は高速道路に沿っており災害時にお迎えなど道路など寸断されないか、洪水など安全か。	高速道路が倒壊するほどの大地震となった場合には、無理に避難所に移動せずに安全が確認されるまで一定の時間を園にとどまることが想定されますので、お迎えについても多少時間がかかっても安全な道路で迂回してお迎えに来ていただくことができます。B地域は、浸水ハザードマップによると、平成12年の東海豪雨時の浸水実績範囲に該当してはいるものの、地域の大部分が浸水しない箇所であらわれており、南側の一部に想定浸水深0.2m未満の箇所がある地域となっており、特段の危険は無い地域であると考えますが、設計の段階において洪水の場合も想定して設備等を検討していきます。
4	B地域への保育園移転には賛成である。ただし散歩に行ける施設として井上児童遊園が名前に挙げられているが面積が狭く、遊具の数も少ないので井上児童遊園の拡張・拡充もセットで検討いただきたい。	井上児童遊園の拡張・拡充については、現在のところ考えておりません。
5	B地域は街灯が少なく暗く横断歩道や信号も整備されていると思えない。通勤時間になると車の交通量が多く危険に感じる。事故多発場所もある。トラック会社の駐車場もありトラックの交通量も多いので危険である。	B地域については、県道江南岩倉線からも一定の距離があり、他に大きな道路もないため現状においても危険性は低いと考えておりますが、交通の問題については、詳細な場所が決定した後は、周辺の道路状況や交通事情を考慮して、地域のご意見を聞きながら関係部署と協力して安全に利用できる施設となるように設計の段階において園舎の配置や駐車場の位置等について考えていきます。

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」のパブリックコメント

No	意見の要旨	市の考え方
6	<p>土地名義人に対する説明会はあったかもしれないが、建築物所有者へ何ら説明などが無かったことが不満である。石仏駅に近い井上町の住宅地化のための足がかりとしてB地域を候補地にしたとしか考えざるを得ない。</p>	<p>今回、統合保育園の建設候補地域の選定を行うに当たり、五条川小学校区の住民への説明会を10月29日、30日実施し、また保育園父母の会連絡会役員へ11月27日にオンラインでの説明会と12月11日の会議に向いて説明を行いました。そこで出された意見を検討項目に反映させた上で建設候補地域の選定を行った結果、最も評価が高いと考えられるのがB地域であるという案をお示ししたものです。</p>
7	<p>B地域が総合的に見たときに立地としては問題ないと思う。仙奈保育園に通園している東小学校区の園児が他の保育園へ転園する場合は優先枠等の配慮の必要があると思う。 民間企業への全面委託は反対である。</p>	<p>北部保育園と仙奈保育園の園児が、統合保育園とは別の園を希望する場合にも保育が継続されるように配慮していきます。 統合保育園の運営形態については、令和4年度に五条川小学校区統合保育園検討委員会を設置して検討していくこととしております。</p>
8	<p>候補地の検討に当たり、駅へのアクセスが考慮に入れていることは大変ありがたい。ぜひ、B地域の案を進めていって頂きたい。</p>	<p>公共交通機関でのアクセスについては、保育園の保護者からの意見を参考に検討項目に加えたものです。</p>
9	<p>北小・東小学区からも非常に遠く、東小学区からは慢性的に渋滞する豊田岩倉線を北上する人が多く、仙奈保育園の保護者は、今より通園時間がかかることが明白であるためB地域については反対する。 A候補地もしくは、A候補地に近い場所への移転を強く希望する。 駐車場の規模等によっては、渋滞等が発生し保護者のニーズに反することもあり、送迎時以外はほぼ使われないため、計画内容によっては駐車場を維持するコストを園舎や保育の充実に活用して欲しい。資料では15台分の駐車場設置を想定しており、父母の会のアンケートでも毎年駐車場設置の要望があるが、ただ設置すればよいものではなく、運用実態と併せて適切に計画して欲しい。</p>	<p>B地域とすると現在の仙奈保育園からは離れてしましますが、岩倉北小学校区や岩倉東小学校区の保育ニーズも考えに入れて、例えば、中部保育園や東部保育園、また、ゆうか幼稚園や岩倉北幼稚園などの保育体制も併せて考えていき、市全域を一つの利用圏域としている点を活かして、公私連携しながら、市全体での保育を進めていきます。 A地域については、立地に関しては、北部保育園と仙奈保育園のちょうど中間地点であり高評価でしたが、環境面での将来の土地利用の面で工業地としての利用の可能性があり保育園のある環境が保たれない可能性が高いことと、農振法や農地法、都市計画法において建設の許可がされない可能性が高いことから、最適地であるとは言えない状況です。 駐車場の規模や最終的な台数については、令和4年度五条川小学校区統合保育園検討委員会で策定される基本構想から設計の段階で施設の内容から保育園の送迎時だけでなく、あゆみの家の利用やその他の子育て支援事業の利用等を複合的に考えて決定していくこととなります。</p>

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」のパブリックコメント

No	意見の要旨	市の考え方
10	<p>新型コロナウイルス感染症のリスク分散の観点から、保育園は小規模で点在しているほうが良いため岩倉市公立保育園適正配置方針及び岩倉市公共施設再配置計画は見直すべきである。</p> <p>B地域について北部保育園の移転については妥当と考えるが、仙奈保育園やあゆみの家の利用者は通園に支障がでる人が多いのではないかと。特にあゆみの家は市の中心部に近い方が利用しやすいのではないかと。</p> <p>市民会議について今後、市民会議により統合園の詳細が決めていくと思うが市民会議は公募により多くの市民が参加できるようにすべき。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応については、社会生活を守りつつ安全に保育を継続して実施していくことを使命として各保育園にて試行錯誤を繰り返してきました。その結果、必要な対策の手法については確立されており、再配置計画等に影響を与えるものではないと考えています。</p> <p>B地域については、現在の仙奈保育園からは離れてしまいますが、岩倉北小学校区や岩倉東小学校区の保育ニーズも考えに入れて、例えば、中部保育園や東部保育園、また、ゆうか幼稚園や岩倉北幼稚園などの保育体制も併せて考えていき、市全域を一つの利用圏域としている点を活かして、公私連携しながら、市全体での保育を進めていきます。</p> <p>あゆみの家については市の中心部にある他の公立保育園では必要なスペースを確保することが難しいため、統合保育園の中に設置し、より良い療育ができるよう新しい施設としていくことが必要です。また、現在は、ほとんどが自動車を利用して通所されますが、保護者の意見を取り入れ、公共交通機関でのアクセスのしやすさも検討した結果、B地域が最適であると考えました。</p> <p>市民会議として、五条川小学校区統合保育園検討委員会を令和4年度に設置します。委員は、識見者や、子どもの保護者、公立保育園の保育士等、子育て支援に関係する人18人で構成します。この内、子育て支援に関心のある人1人を市民登録委員から選出し、2人を市広報の5月号において公募する予定です。</p>
11	<p>B地域への移転は良いと思う。道の整備をもう少しすれば環境は良いと思う。北にある道路（一宮市から抜ける道）は朝は交通量が多いので注意が必要かもしれない。</p>	<p>通園の際の交通についての利便性や安全性については、詳細な場所が決定した後に、周辺の道路状況や交通事情を考慮して、地域のご意見を聞きながら関係部署と協力して安全に利用できる施設となるように設計の段階において園舎の配置や駐車場の位置等について考えていきます。</p>
12	<p>老朽化も進み駐車場問題など、時代の変化と共に需要形態も様変わりしていく。検討委員会のメンバーに、是非とも、加えたいいただきたい。</p>	<p>五条川小学校区統合保育園検討委員会の委員は市広報の5月号において募集しますので、ご応募ください。</p>
13	<p>B地域が3候補の中では良いと思う。自然環境、駐車場の確保、駅が近くにあるなど、保護者にとって良い条件が整っている気がする。ただ、あゆみの家の保護者や子どもたちにとっては、果たして良い条件になるのかは疑問に思っている。</p>	<p>統合保育園の運営形態については、令和4年度に五条川小学校区統合保育園検討委員会を設置して検討していくこととしており、あゆみの家についても設備の内容等について利用者にとって良い施設となるように検討していきます。</p>

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」のパブリックコメント

No	意見の要旨	市の考え方
14	<p>C地域は名鉄犬山線の西側であり、名新高速道路やトラックロードで非常に交通量も多い国道155号線に近い。</p> <p>A地域について、東西の道路も小牧市への延伸も計画されており、現在でも交通量が多く、駅からも遠いため通園に不便なところである。</p> <p>北部保育園が他保育園と統合されるのは反対であるが、今回の岩倉市（案）のA、B、Cの三つの地域ではB地域がよいと思う。</p>	<p>今回、統合保育園の建設候補地域を選定するに当たり、立地条件や、面積、周辺環境など、市民の声も参考にして6分野、11項目の評価項目と評価基準を定め、五条川小学校区の4行政区のうち3行政区から、統合園を建設できると見込まれる地域を設定し、最適と思われる地域を選定しました。その結果が、B地域となったものです。</p>
15	<p>B地域は検討項目の評価も高く、石仏住民には利用しやすいと思うが、仙奈保育園の利用者からは遠くなる。</p> <p>仙奈保育園と北部保育園の両方の利用者を見るとA地域も良いと思う。</p> <p>あゆみの家は市の中心地に近い保育園と併設すべき。</p> <p>保育を民間委託することの無いように願う。</p>	<p>A地域については、立地に関しては、北部保育園と仙奈保育園のちょうど中間地点であり高評価でしたが、環境面での将来の土地利用の面で工業地としての利用の可能性がある保育園のある環境が保たれない可能性が高いことと、農振法や農地法、都市計画法において建設の許可がされない可能性が高いことから、最適地であるとは言えない状況です。</p> <p>あゆみの家については市の中心部にある他の公立保育園では必要なスペースを確保することが難しいため、統合保育園の中に設置し、より良い療育ができるよう新しい施設としていくことが必要です。また、現在は、ほとんどが自動車を利用して通所されますが、保護者の意見を取り入れ、公共交通機関でのアクセスのしやすさも検討した結果、B地域が最適であると考えました。</p> <p>統合保育園の運営形態については、令和4年度に五条川小学校区統合保育園検討委員会を設置して検討していくこととしています。</p>
16	<p>市民会議のメンバーは公募して、保育士や父母、一般市民を入れてほしい。</p> <p>新しい保育園は市立にしてほしい。</p>	<p>統合保育園の運営形態については、令和4年度に五条川小学校区統合保育園検討委員会を設置して検討していきます。また、この委員会の委員は、識見者や、子どもの保護者、公立保育園の保育士等、子育て支援に関係する人18人で構成します。この内、子育て支援に関心のある人1人を市民登録委員から選出し、2人を市広報の5月号において公募する予定です。</p>

「五条川小学校区統合保育園の建設候補地域の選定について（案）」のパブリックコメント

No	意見の要旨	市の考え方
17	<p>夢さくら公園や井上児童公園もあり環境が良く石仏駅にも近いのでB地域が良いと思う。 民営化しないでほしい。</p>	<p>今回、統合保育園の建設候補地域を選定するに当たり、立地条件や、面積、周辺環境など、市民の声も参考にして6分野、11項目の評価項目と評価基準を定め、五条川小学校区の4行政区のうち3行政区から、統合園を建設できると見込まれる地域を設定し、最適と思われる地域を選定しました。その結果が、B地域となったものです。</p> <p>統合保育園の運営形態については、令和4年度に五条川小学校区統合保育園検討委員会を設置して検討していきます。</p>
18	<p>Bは南側が0.2mだけれど浸水箇所ありで五条川も近くにあるので、少しでも浸水しない土地の方が安心である。 保育定員、支援定員合わせて150人に対して駐車場が15台というのも少ないのではないか。 A地域だと踏切を越える必要があること、C地域は国道155号線の交差点が朝に道が混んでいる。 B地域では、トラックの駐車場はあるものの、周辺に公園もあり、スクールガードの見守りも近くで行われるようなので地域の人の目もあり、良いのではないか。 統合園は、福祉避難所となるよう検討してほしい。</p>	<p>B地域の水害時の様子については、平成12年の東海豪雨時の浸水実績範囲に該当していますが、地域の大部分が浸水しない箇所でも占められており、五条川についてもこの地域で氾濫したことはないため、特段の危険は無い地域であると考えますが、設計の段階において洪水の場合も想定して設備等を検討していきます。</p> <p>駐車場の台数については、統合保育園の必要面積を概算で算出するために15台と仮定したのですが、1台当たりの面積を一般的な駐車場よりも大幅に広く設定して積算しています。最終的な台数は、令和4年度五条川小学校区統合保育園検討委員会で策定される基本構想から設計の段階で決定していくこととなります。</p> <p>統合保育園を福祉避難所とするかという点についても同様に検討していきます。</p>